農林水産分野における省CO2効果の「見える化」の 具体化に向けた検討事項

1. 農林水産分野における省CO2効果の「見える化」の意義

- ①農林水産業関係者の温室効果ガス排出削減の努力
 - ②木材製品の利用による炭素固定効果
 - ③バイオマスの化石資源代替効果

を消費者に示すことで、地球温暖化対策に貢献する農林水産業を推進。

- ▶ 化石資源等CO2排出型資源からバイオマスへの転換を加速化。
- ▶ 温室効果ガスの排出を国民が認識し、省CO2型の生活を選択することに資する。
- ※ 意義を踏まえ、以下の事項を検討

2. 表示方法

農林水産業関係者の排出削減努力等を消費者に的確に伝える表示のあり方

- ① 表示内容
 - CO2総排出量
 - 排出削減効果、排出削減努力
 - 炭素固定量
 - 化石燃料代替効果
 - ・輸送距離、輸送時のCO2排出量等
- ② 表示箇所
 - ・ 商品への表示
 - 店頭、商品陳列棚での表示
 - HPや広告での表示 等
- ③ マークの統一性、わかりやすさ

3. 算定方法

• 算定範囲、標準値 等

4. 信頼性の確保

5. 農林水産業関係者、消費者への普及、啓発

- ① 消費者ニーズの的確な把握
 - 商品選択の視点(信頼性、わかりやすさ 等)
- ② 算定、表示のガイドラインの作成、試行
- ③ 簡易算定サービス

6. その他

・ フードマイレージの特徴、活用方法 等

農林水産分野における省CO2効果の「見える化」の 具体化に向けたとりまとめの検討スケジュール

